

なののはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **112**

January 2025

カトレアンホーム：新年の準備！



INDEX

①
②
トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

介護テクノロジーの重点分野について

～名称の変更と追加項目と
既存分野の見直しについて～

フォーカス「老健ちば」

〈新年のご挨拶〉

一般社団法人千葉県老人保健施設協会
副会長 武田從信（よりのぶ）

〈理事会〉

〈全国老人保健施設大会優秀奨励賞受賞〉

③
④
〈特集 広報レポート〉

令和6年度千葉県老人保健施設大会
最優秀賞 ハートケア市川

⑤
⑥
〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

〈温かみのあるおもてなしを〉

介護老人保健施設グレースケア市川
管理栄養士 柿沼 風佐

⑦
〈なののはなスマイル〉施設の笑顔紹介

● 船橋うぐいす園

● 日向の里

〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

2025年1月23日 発行

● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンドTOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニュースウォッチ

介護テクノロジーの重点分野について

～名称の変更と追加項目と既存分野の見直しについて～

とし、既存分野・項目である「移乗支援（装着・非装着）」「排泄支援（排泄予測・検知）」「見守り・コミュニケーション（施設・在宅コミュニケーション）」「入浴支援」「在宅業務支援」の定義文について見直しを行う。

「食事・栄養管理支援」は、誤嚥検知または栄養管理支援のいずれかを有する機器・システム。誤嚥検知は、誤嚥発生（リスク）を検知し、介護従事者等への通知とデータ収集ができるもの。栄養管理支援は食事摂取内容等のデータ収集、それに基づき低栄養等の課題を把握できるものとする。

収集された情報は介護記録システムやケアプラン作成支援ソフト、LIFE等と連携、あるいは管理栄養士や介護職員等の多職種に共有され、栄養改善に資する食事・栄養管理の業務効率化が期待されるものであれば、より評価が高い。

介護報酬上では既に、低栄養リスク者の把握・対応を評価する「栄養改善加算」や「栄養マネジメント強化加算」、また24年度改定で新設された、在宅利用者の口腔スクリーニングを行う「口腔連携強化加算」などが設けられ、収集すべき口腔・栄養情報や記録様式は示されているが、「収集方法」まではあまり明記されていない。今回の対象機器・システムは口腔・栄養評価のための情報収集を効率化し、各種加算取得を助けるツールになる可能性が高い。

また、同重点分野の機器は厚労省「介護テクノロジー導入支援事業」の補助対象。次年度以降、各都道府県の取扱や導入実績も注目される。

（シルバー産業新聞2024年11月10日号より
一部記事抜粋）

（参考）介護テクノロジー利用の重点分野の全体図と普及率



※赤破線で囲っている、排泄支援（排泄予測・検知）、見守り（施設）、見守り（在宅）、コミュニケーション、介護業務支援、機能訓練支援、食事・栄養管理支援、認知症生活支援・認知症ケア支援の項目においては他の機器・システムとの連携を定義文において明記
※項目別の普及率は、『令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査結果』を引用
※緑枠線の、新たに追加される機能訓練支援、食事・栄養管理支援、認知症生活支援、認知症ケア支援の3項目に関しては、上記調査を実施していないため、普及率は未記載

フォーカス 老健 ちば

謹賀新年



一般社団法人
千葉県老人保健施設協会
副会長 武田從信(よりのぶ)

新年明けましておめでとーございませう。

会員各位におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

令和6年度は介護報酬1.59%実質2.04%の引き上げとなったところです。本改訂にあたっては介護人材の確保と介護現場の生産性の向上が議論になったことが挙げられます。元気高齢者の登用やDX、外国人材の確保も必要ですが、最

も重要であるのは、我が国の若い人材に介護の魅力をアピールすることです。本年度から千葉県において「福祉関係高校生人材育成支援チーム ふくしコンソーシアムちば」が立ち上がり、当協会も運営委員として参加をして介護老人保健施設の魅力の発信に努力をして参ります。また、「介護現場革新会議」も立ち上がり、当協会からも参加をしており会員施設の生産性向上に資するよう努めてまいります。

一方で昨年は石川県能登地方において巨大地震が発生して大きな被害をもたらしており、いまだ復興途上にあります。当協会の会員からも現地へ災害支援に赴き相互支援を行ってまいりました。このように多くの課題がある中で老健施設としては利用者の方々が安心して利用できる環境づくりや家族の皆様に必要な情報や支援を受けられるような仕組みの整備が不可欠です。また、老健施設は地域貢献を求められているわけですので地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みを継続することが必要です。当協会としては会員各位の期待に応えて地域の高齢者を支える拠点として活躍できるように役立てていただければ幸いです。

おわりに、会員各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、新年のご挨拶いたします。

理事会

令和6年10月28日(月)にポートプラザ千葉にて理事会を行った。議案内容は、令和6年度上半期事業報告と下半期事業計画など3議案を滞りなく承認された。

全国老人保健施設大会優秀奨励賞受賞

令和6年11月14日岐阜県の長良川国際会議場にて全国介護老人保健施設大会IN岐阜が行われました。そこには全国から介護老人保健施設の職員が約4000人集まり、研究事例等を発表する大会が行われました。

その開会式の中でフルマータ船橋の支援相談員をしている塩原貴子様が表彰されました。

今回は、塩原様から発表内容について簡単にまとめて頂いたのでご紹介します。



「LGBTQ利用者のその人らしい生活を支援するために」

今までも性的マイノリティと言われる利用者さんを支援していたのかもしれないが、カミングアウトをされた上で施設入所を支援するのは当施設にとつて初めての事でした。社会福祉士として本人の尊厳を守り、安心してリハビリを行い、パートナーと一緒、自分らしく生きられる住処へ繋ぐ事を目的とした施設生活をする上で課題となるのであろう下記4つを挙げ取り組みを行った内容を発表しました。

①部屋の課題、②入浴の課題、③利用者の受け止め方、④職員の受け止め方

入所前の初回面談時「男性の部屋でもいいですよ」と話された「うでも良い」という表現が気になったことがきっかけです。性自認としては「女性」。本心はどうなん

だろう、パートナーはどう受け止めるだろうと感じ、LGBTQの当事者の方から職員向けの勉強会開催、職員へ意識調査のアンケートを実施しました。施設生活の中で、他利用者から「あの人は男性なの？」と聞かれたり、その回答に困惑する職員の不安等をアンケートから伺い知ることができました。反省も多々ありましたが、しかし多くの職員から「二人のひととしてケアをするにあたり性別は問題ない」「曖昧にするから利用者も困惑するので、もっとオープンにしては」等コメントもあり、「この声かけは失礼にあたるのか？」など悩みながら支援する場面も実際あるなか、「二人の人」として支援をし、結果として本人、パートナーが納得する住処へ繋ぐことができたのはとてもよかったと感じます。発表にあたり、本人、パートナーさんからもたくさん協力を頂き、たくさんお話させて頂きました。「辛いことはたくさんあった。過渡期と言われる瞬間もたくさんあったよ、でも当事者は周りに合わせて生きてるよ」という言葉は決して忘れることはできません。お二人に会えたこの縁も大切にして日々の支援にあたりたいと思います。





令和6年度 千葉県老人保健施設大会

最優秀賞 ハートケア市川

**いつまでも安全な食事を！
～食事改革～**



入所者の認知機能低下

・食事摂取が進まない方 増
・摂食嚥下機能が低下している方 増

・食事時の個別対応 増
・食事形態の複雑化

ST「ソフト食が欲しい」
フロア「形のある食事を食べて頂きたい」
管理栄養士「食欲の湧く食事を提供したい」
調理師「業務の効率化を進めたい」

従来の食形態：5形態	新規 食形態：4形態
【常菜】 形のあるまま提供する 【一口大】 魚など大きい食材は一口大にカットする 野菜2.5cmカット 【きざみ食】 (1cm角) 一枚の肉料理は、ひき肉料理 (ハンバーグ状)にして提供する 魚料理は身をほぐし、とろみ剤でまとめる 【細きざみ食】 1mm程度の大きさにするまで、カッターに かけ、とろみ剤でまとめる。 【ミキサー食】 ペースト状にしてから、とろみ剤で まとめる。	【常菜】 へ名称を変更 魚、肉(野菜)は一口大カット 野菜などは2.5cmカット 【粗きざみ食】 1.5cm～2cmカット 肉料理は時菜に漬けて軟らかくする。 魚料理は規定の大きさにカットする。 【ソフト食】 次スライド 【ミキサー食】 現行通り



ソフト食



ハートケア市川の紹介



ハートケア市川様は、市川市にあり、1都6県に28病院21介護老人保健施設等をもつ、上尾中央医科グループ傘下の老健です。入所120床、通所50名定員の規模で運営されています。

食事にに関する悩みや課題、要望がゴロゴロ

入所者の傾向の変化によって、提供する食事の対応にも大きな変化が生じ、それが様々な悩みや課題、要望を各部署・各職種で生むキッカケとなっていたそうです。これは、ハートケア市川様に限らず、多くの老健が抱える問題であると感じました。

今回、令和6年度千葉県老人保健施設大会で最優秀賞を受賞された、ハートケア市川様へ「いつまでも安全な食事を！～食事改革～」についての取材と施設見学に伺わせて頂きました。当日は、発表者であり、この取り組みの中核である言語聴覚士の古川美樹さんを中心にお話を伺う事が出来たので、ご紹介させて頂きます。

食事形態を5形態↓4形態へ

ハートケア市川様では、食事は業務委託(タックサーブ方式)で行っていて、施設側と委託側の両者に管理栄養士が在籍しており、その方々も含め、多職種で話し合いを重ねながら1年半かけて、ソフト食の導入など、食形態を5形態から4形態へ改定していたそうです。

しかし、改定したことで、これまでギリギリの食形態のレベルで摂取していた方は、食形態を1段階下げざるを得ないことになり介護職側では「もったいないんじゃないか？」という課題が生じることもあったようです。

食の安全に徹底的に拘っていく

言語聴覚士、管理栄養士、委託の管理栄養士、委託の調理師とで週1回の食事カンファレンスを行い、食材のカット方法や大きさ、硬さ、調理方法を協議し、マニュアル化し、実施優先順位のルール化を行うことで安全と業務の効率化を両立させたそうです。

これは、現在月1回開催している栄養管理向上委員会でも継続していて、新しい食品が入る度に多職種で試作・試食しながら協議しているそうです。



取材を受ける
言語聴覚士の
古川美樹さん

パン粥がまさかの救世主に

元々ごはんでは食が進まない方の為にあり、使用頻度はそれほど多くなかった「パン粥」。

これを管理栄養士に成分や作り方を見直してもらい、お茶碗1杯で400kcal超、タンパク質9gの高カロリー・高タンパク食となりました。



400kcal超・たんぱく質9gのパン粥

このパン粥を導入したところ、甘い趣向の方が高齢者には多いことや、認知症で味覚異常や鈍麻がある方、嚥下障害で感覚低下に伴う味覚鈍麻の方には強烈な甘い味覚刺激が良かったのか、従来の粥と比較して食が進むようになった方が増えたそうです。

また、食事ができるようになったことで褥瘡が治癒し、離床できるようになった方や動けるようになり、身体活動量も上がってADLが向上した方も増えるようになったそうです。

さらに、パン粥で十分な栄養が摂取できるようになった方については、これまで食事と共に提供していた栄養補助食品を終了させることにも繋がって、施設のコスト削減にも貢献できるようになったそうです。

この他にも、メイバンスゼリーをアイスに作り替え、嚥下反射の弱い方への冷感刺激と食支援を行ったり、胃腸の方の食支援として「経口移行加算」を積極的に進めていたり、と利用者様の食支援を積極的に進めていらつしやるとのことでした。



また、在宅復帰予定の利用者様には、退所前30日から在宅復帰食（粗きざみとソフト食の中間）を提供して、食事の準備の不安なく帰れるよう、しっかりと支援されているそうです。

取材を終えてみて…

今年度の介護報酬改定でも、リハ・口腔・栄養の強化が謳われている中で、これだけ積極的に食の安心安全に対して取り組み、かつ業務効率やコスト面にも踏み込んでらつしやるハートケア市川様の姿勢は、我々も自分の施設の現状・利用者像を鑑みながら見習っていかなば、と強く感じました。

この度は取材にご協力頂きありがとうございました。改めて、最優秀賞受賞おめでとうございます。



言語聴覚士の古川美樹さん(中央)、
看護部長の星野真理子さん(左から2人目)と、千葉老健協会広報委員

研・修・会・報・告

ノリフトケア研修会

令和6年10月2日(水) ポートプラザちばにて、18施設21名が参加しノリフトケア研修会が行われました。講師には一般社団法人日本ノリフト協会代表保田淳子氏をお招きし、ノリフトの概念、オーストラリアの実際を紹介、日本での取り組みの課題等、介護テクノロジーを用いたこれからの介護について講義していただきました。

午後は、パラマウントベッドの協力によりベッド5台のほか、車いす、リフトが用意され、参加者全員、ケアを受けてみる、やってみるを体験することができました。

今回の研修で学んだことをそれぞれの施設に持ち帰り、今できることは何かを探りながら、小さな成功体験を積み重ねて目標をイメージしていく。そのためにはまず一緒に働く相談できる仲間を作り現場からの発信、提案が重要である。つまりはCS(顧客満足度)＝ES(従業員満足度)であると学びました。



感染症研修

令和6年10月15日(火) ポートプラザちばにて、32施設47名が参加し感染症研修会が開催されました。研修目的は「感染症に対する基本的な知識・技術の確認と習得」。講師には、千葉県がんセンター感染症認定看護師 大塚モエミ氏と千葉県循環器センター医療安全管理室 白熊久美子氏をお迎えし、講義と実技・演習が行われました。

午前中の講義では「感染対策の基本的な考え方」をテーマに、標準予防策と感染経路別予防策、ゾーニングの考え方を学び、午後の実技・演習「個人防護具の適切な使用について」では実際に防護具の着脱を指導していただきました。その後のグループワークでは、「感染症発生時の対応」について、コロナ感染症発生時のシミュレーションが行われました。陽性者の速やかな隔離対応が重要ですが、対応の正解は一つではなく状況により臨機応変に考える必要があります。またそのような状況下でも老健の機能を停止することなく、リハビリは必要であると強調されていました。



リハビリ研修会

令和6年12月4日(水)、ホテルポートプラザちばにてリハビリ研修会が行われ、リハビリ職、介護職、管理栄養士など28施設、37名が参加されました。

講師は、介護老人保健施設リハパーク舞岡の管理栄養士、苅部康子氏をお招きし、「介護老人保健施設におけるリハ・栄養・口腔管理の実践について」をテーマに、実体験に基づき分かりやすく講義していただきました。

午後は6グループに分かれ、事例をもとに実際に計画書を作成するというグループワークを実施いたしました。多職種ならではの視点が異なるアプローチや評価をもとに、活発な意見交換が行われました。

今回の研修で、老健で働く私たちは、自立支援・重度化予防のための効果的サービスを提供する観点から、リハビリテーション(個別機能訓練)、栄養管理及び口腔管理の連携を強化することが重要であると学びました。



令和6年度第1回支援相談員部会

令和6年度支援相談員部会長

ケアセンターさきくさ 埜中 雅美

令和6年10月23日ホテルポートプラザちばにて、第1回支援相談員部会が開催されました。アアライ株式会社 代表取締役 八木亜紀子氏を講師にお迎えし、28施設から37名の参加者がありました。今回の研修テーマは「相談援助職の記録の書き方」でした。記録作成の基礎や注意事項、SOAP(S:主観的情報、O:客観的情報、A:アセスメント、P:プラン)などについて学びました。後半はグループに分かれてSOAP演習を行いました。記録は誰のために作成するのか、記録はいつでも開示され得るという前提で書く、記録者の主観を書かない、など専門家としての倫理的責任、法的義務を果たす記録を作成できるよう習慣付けていきたいと思っています。

今までとは違う考え方ができるようになるよ、と講師の先生がおっしゃったように、3時間の短い時間でしたが有意義な研修となりました。





ご利用者様にとって、毎日のお食事は楽しみのひとつでもあります。

栄養課では、日々のお食事に「なんかいいな、をプラスワン」を目標に、ご利用者様に喜んでいただけるような美味しく・楽しい食事を心掛けています。季節に合わせた食材や行事はもちろんのこと、年間イベントとして、「戦国武将物語」全国各地のバスターアールなど、時代や地域の特徴を活かした食を取り入れて、楽しんでいただけるお食事を企画しています。

2024年度のテーマは、「昭和食堂へようこそ」です。昭和レトロな雰囲気やテーマに、昭和30～50年代にスポットを当てました。ナポリタンやオムライス、プリンアラモードなど、懐かしい食事を楽しみながら、あの頃の思い出を振り返っていただけたらなという想



いを含めています。

このようなイベントを通じると、ご利用者様の食事の好みを知れたり、思い出話を聴けたり、新しい発見が沢山あります。また、コミュニケーションが難しい方でも、完食されていると気持ちが通じ合っている気がしてとても嬉しいのです。何よりもご利用者様の笑顔と「美味しい」と言っていただけのことややはり1番嬉しいですね。

いつもご協力いただいているスタッフの方々には、大変感謝しております。

これからも当施設で良かったと思っていただけよう、日常に彩を添えていけたらと思います。



温かみのあるおもてなしを 介護老人保健施設グレースケア市川 管理栄養士 柿沼風佐

新車・中古車販売 新車の福祉車両はもちろん中古福祉車両もご用意しております！ ハイエース・ミニバン・軽自動車	買取 大切なお車買取いたします。お車見直しだけでも対応いたします。車イス移動車、スロータイプ、その他福祉車両もお持ちしております。	車検・点検 飯金・修理 一般の車はもちろん福祉車両の車検点検、飯金、修理も行っております。福祉車両ならではのシート部分やサイドステップ、車イス固定装置などの福祉部のメンテナンスを行います。また、お車をお預かりする際は福祉車両の代車をお出しいたします。
リース 法人様向けに「定期メンテナンス」「福祉車両代車」をふくんだ福祉車両に特化したリースをご用意しています。その他、ファイナンスリース、保険付きなども承っております。	レンタカー 様々な車種の福祉車両レンタカーをご用意しています。1ヶ月以上の長期貸出もできます。	保険 自動車保険をはじめ、火災・盗難・傷害・賠償保険も取り扱いがございます。誠実・正確をモットーとし、お客様の期待と信頼にお応えします。

福祉車両のことなら

エンジニアス 株式会社

お気軽にお問い合わせください！

☎ 048-263-9180

FAX 048-263-3452

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

BCP・日常業務に業務用無線がお役に立ちます

**災害時の
避難誘導に**

**緊急連絡
手段として**

**簡単操作で
一斉通話**

業務用無線機・インカム・トランシーバー販売

関東電子株式会社

〒260-0022 千葉県中央区神明町5-15

☎ 0120-456-720

お気軽に
お問い合わせ
ください！



明るく! 元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ 船橋うぐいす園

船橋市に位置する介護老人保健施設船橋うぐいす園は、平成12年に開設し、今年で24年目を迎えております。地域包括ケアの社会資源となる事を使命に★、「ご利用者様ファースト!」をモットーに、多職種連携で、安心して次の住まいに繋げて行けるよう支援しております。

住 所: 船橋市高根町1-1
電 話: 047-425-8451
開設日: 平成12年4月1日
入 所: 100名
通 所: 30名



施設長の堀と申します。
当施設での生活を通して、
お一人お一人が、ご自分らしい毎日を
取り戻してくださる事を
願っております。

医師
堀 哲夫

■ 日向の里

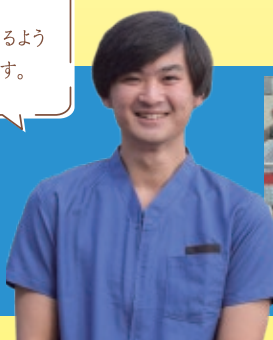
閑静で緑に囲まれた素晴らしい周辺環境に恵まれ、施設全体にわたりゆったりご利用していただけるスペースを有しています。室内外でのリハビリテーションにも積極的に取り組んで在宅復帰を目指して様々な支援を行っています。

住 所: 山武市木原2100
電 話: 0475-88-1980
開設日: 平成20年4月1日
入 所: 80名
(ショートステイ含む)
通 所: 40名



ご利用者様が
安心・安楽に過ごしていただけるよう
丁寧な対応を心がけています。

介護福祉士
塚田 葵



老健ちばカレンダー

あけましておめでとうございます。
研修会も会場で開催できるようになって、アンケートの集計をすることも多くなりました。
その中で、日々介護に前向きに頑張っている様子が見えてとても幸せな気持ちになる事が多々あります。
研修委員一同より良い研修を目指して頑張っておりますので、今年もよろしくお願い致します。

1月27日(月)…管理者研修会
2月26日(水)…リスクマネジメント研修会

●編集後記

- 昨年マラソンを頑張ろうと新年の目標を立てましたが、あっという間に時が過ぎ、道具を揃えて1年が終わってしまいました。今年こそは「走ろう」と少し弱気な決意ですが、目標を立てています。老健施設にとって明るい1年になりますように!本年もよろしくお願い致します。(白石)
- 明けましておめでとうございます。今回は研修報告の記事を担当させていただきました。リフトを実際に操作する、感染防護服を実際着脱してみる、何より他施設との意見交換が直接できること。あらためて参集研修っていいなあと感じました。(坂本)
- 皆様明けましておめでとうございます。昨年はコロナも5類となり施設内の季節のイベントを盛り上げようと奮闘しておりました。しかし、なかなか上手くはいかないもので、実りではなく課題の多い1年となりました。季節性以外の感染リスクが潜む中でイベント企画は以前までの進め方では上手くはいかない物です。いつぞやの言葉ではありますが「withコロナ」。上手く付き合っていく為にはどうするべきか、今年も反省しながら頑張っていきます。(松戸)

- あけましておめでとうございます。2025年が始まりました! 昨年は本気で、本人・家族共々、体調不良に悩まされた1年でした。逆に仕事では、これまでにない位に多くの方と交流が持てるようになり、充実した1年でした。今年は、そのご縁を大切にしながら、更に何かを生み出せるように精進していきたいと思えます。本年もよろしくお願いいたします。(古田)
- 明けましておめでとうございます。年越し業務に励んだ会員の皆様を、想いながら新年を迎えました。今年も皆さんとの情報交換を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。(若林)
- 明けましておめでとうございます。今回の1月号では、フェルマータ船橋の塩原様が老健全国大会で受賞した記事を担当しました。私が全国大会に11回行っている中で千葉県の老健が優秀奨励賞をステージで頂く事は初めてだと思えます。千葉県の仲間がステージで表彰される姿を観れた事はとても誇りに思える瞬間でした。塩原さん、おめでとう~! (福田)